

ワーキングペーパー

大学教育の質的保証と評価

日中高等教育研究ワークショップ報告書



東洋大学 IR室・国際部共催

2017 年 1 月 11 日

目 次

まえがき	2
1. 中国における大学教育評価の展開	4
王 戦軍(北京理工大学 教授)	
2. 東洋大学における教育質保証の取り組み	8
神田 雄一(東洋大学 副学長)	
3. 大学教育の質保証における高等教育研究所の役割.....	11
宋 彩萍(上海對外貿易大学 教授)	
4. 大学教育の質保証の取り組み—中国海洋大学の事例.....	16
宋 文紅(中国海洋大学 教授)	
5. アジア大学における I R と教育の質的保証.....	21
劉 文君(東洋大学 准教授)	
6. 総括—大学教育の質的保証と評価.....	26
金子 元久(筑波大学 教授)	
附	
講演者紹介	28
プログラム	29

まえがき

2017年1月11日、東洋大学IR室と国際部の共催のもと、また東洋大学・井上円了記念研究助成（研究代表者：劉文君、学内外研究協力者：金子元久・高橋清隆）による研究の一環として、「日中高等教育研究ワークショップ—大学教育の質的保証と評価」を東洋大学白山キャンパスにて開催しました。

グローバル化の進展、知識基盤社会への転換、高等教育の量的な拡大、若者の価値観の変化など、大学を取り巻く背景が大きく変わってきている中、先進諸国をはじめ多数の国で、高等教育は量的な拡大から質的保証へと大きな転換期を迎えています。高等教育の質的保証および評価に関して、日中両国は各自固有な問題を抱えつつも、共通な課題も少なくありません。今回、中国の高等教育評価研究の第一線で活躍され、かつ本学の協定大学においても大学評価に携わっている責任者をお招きし、日中両国の大学教育の質的保証に対する取り組み及び課題に関して研究発表をしていただきました。

ワークショップの開催前には、中国側の講演者が東洋大学の福川伸次理事長、竹村牧男学長をそれぞれ表敬訪問し、世界の動向を俯瞰的に見据えながら意見交換を行いました。そして、グローバル経済が進展する中、今後、アジアにおける質の保証を伴った大学間交流の飛躍的拡大がアジア各国との良好な関係に発展すること、また人材養成の最高教育機関として日中両国の大学間、とりわけ本学と協定大学との実質的な学術交流、教員・学生交流の一層の拡大が重要であるとの認識で一致しました。

ワークショップは、東洋大学の神田雄一副学長の開会挨拶で始まり、続いて、1.「中国における大学教育評価の展開」王戦軍（北京理工大学 教授）、2.「東洋大学における教育質保証の取り組み」神田雄一（東洋大学 副学長）、3.「大学教育の質保証における高等教育研究所の役割」宋彩萍（上海對外貿易大学 教授）、4.「大学教育の質保証の取り組み—中国海洋大学の事例」宋文紅（中国海洋大学 教授）、5.「アジア大学におけるIRと教育の質的保証」劉文君（東洋大学 准教授）の5名より講演が行われました。その後、ワークショップの総括として、筑波大学の金子元久教授より「総括—大学教育の質的保証と評価」に基づき、日中両国の大学教育の質的保証と評価における共通点および差異について整理し、大学教育の質的保証および大学間の交流におけるIRの果たす役割の重要性と課題を明確にされました。

最後に、閉会の挨拶を高橋清隆国際部長が行いました。

ワークショップの参加者は本学の教職員が中心でしたが、台湾評価協会の秘書長・副秘書長も台湾より来日出席され、活発な意見交換及び議論が展開されました。

本ワーキングペーパーはワークショップの内容をとりまとめたものでありますが、読者のご参考になれば幸いです。

2017年2月吉日

東洋大学 IR 室准教授 劉 文君



ワークショップの講演者



講演者が理事長を表敬訪問



講演者が学長を表敬訪問



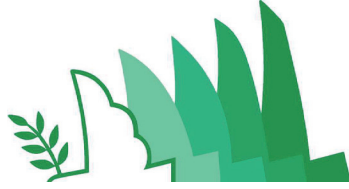
中国における大学教育評価の展開

王戰軍

Wang Zhanjun

2017.01.11

1



主要内容

- 高等教育の発展状況
- 質的保証システム
- 大学院教育に関する調査

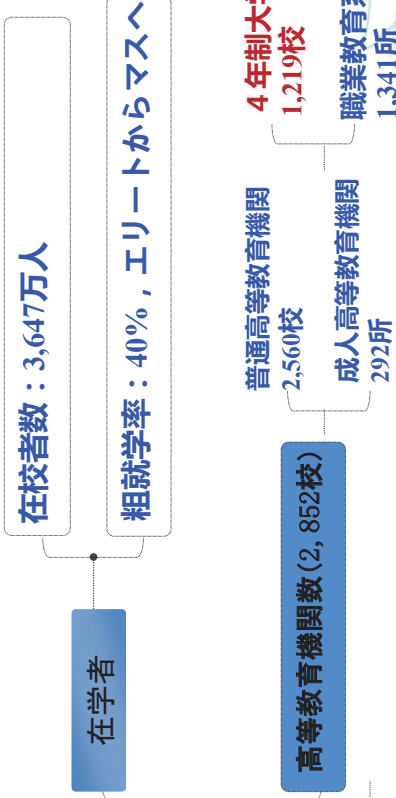


2



高等教育の発展状況

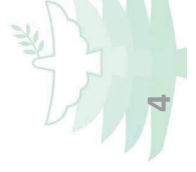
The Basics of Higher Education in China



3



質的保証システム



4



国家レベルの質的モニタリングデータベース (1)

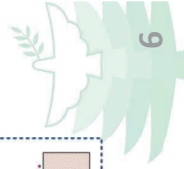
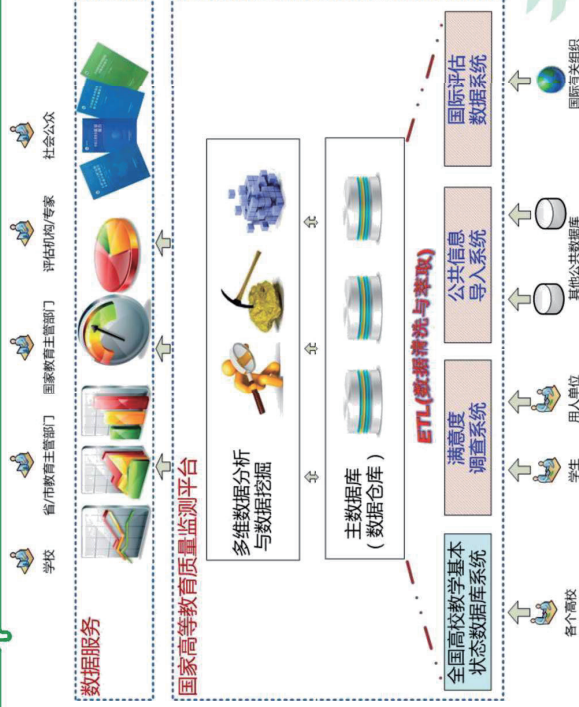
大学の教育・運営状況、教員状況、専門分野、カリキュラム・教学、卒業・就職状況などについて多元的に質的モニタリング



5



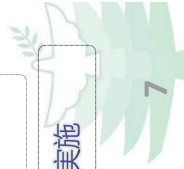
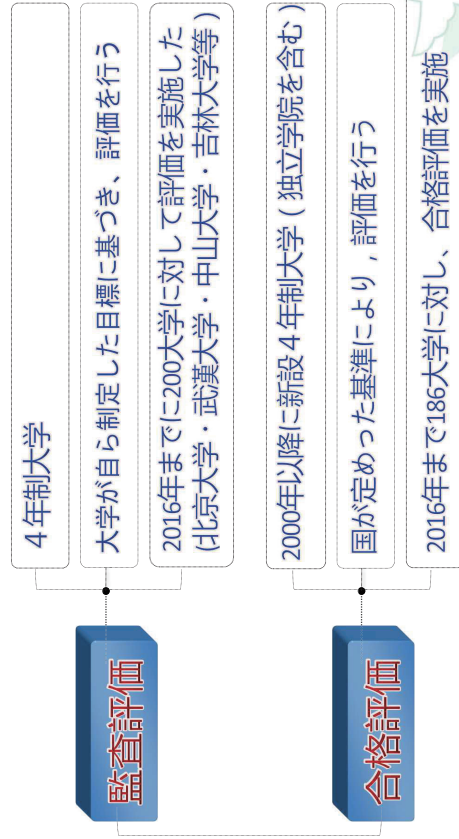
国家レベルの質的モニタリングデータベース (2)



6



機関評価、専門分野認証 (1)

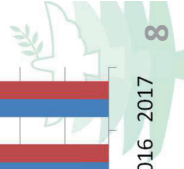
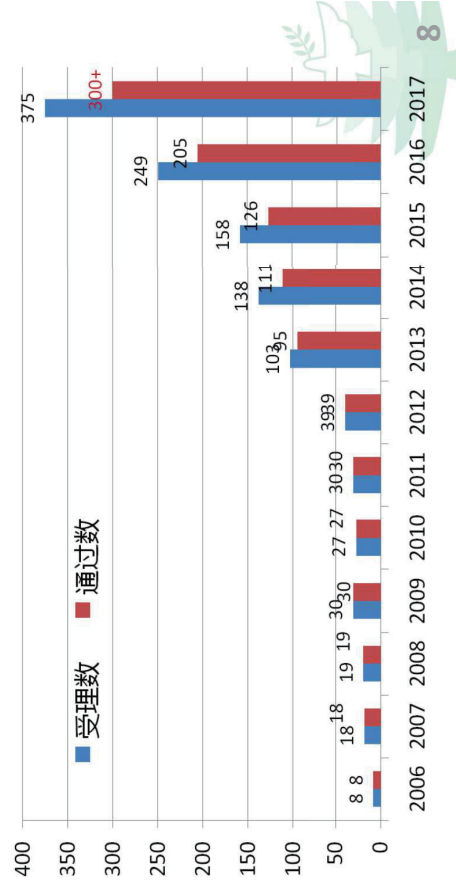


7



機関評価、専門分野認証 (2)

2016年まで、約200校、そのうち主に工学を有する985和211大学に対して認証評価を行った



8



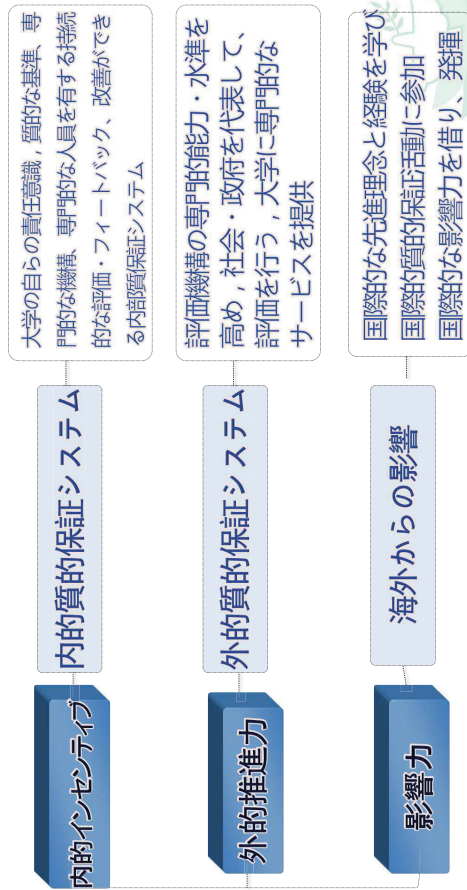
機関評価、専門分野認証 (3)

年	学科	大学・分野
2015年 (4校7分野)	人文社科	厦門大学: 国際経済と貿易/工商管理 浙江大學: 国際経済と貿易/財務管理 對外貿易大學: 国際経済と貿易/会计学 西南財計大學: 国際経済と貿易
2016年 (3校5分野)	理学 農学 人文社科	武漢大學: 物理学/化学 中国農業大學: 農学 對外經濟貿易大學: 財務管理/工商管理 (中ロ聯合国際認証) 南京大學: 物理学
2017年 (6校7分野)	理学 農学 人文社科	中山大學: 工商管理/新闻学 中国メディア大學: 新闻学 華中農業大學: 農学 南京農業大學: 農学 東北林業大學: 林学

9



三つの保証



10



大学院教育に関する調査 (1)

2016年調査結果

- 2016年に139の大学院生の教育機関（うち「985プロジェクト」大学36校、「211プロジェクト」大学38校）。

(4) 博士生の总体満足度高于硕士生。博士生の总体満足率达72.5%, 硕士研究生总体満足率为70.5%。

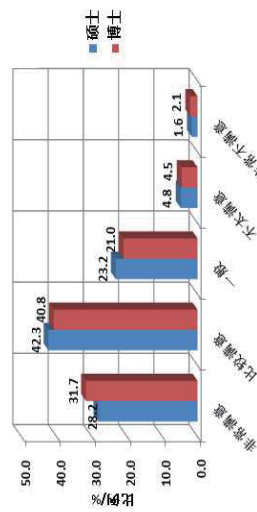


图7 不同层次研究生总体满意度比较

11



大学院教育に関する調査 (2)

2012年から2016年までの間に、満足度は総じて上昇している。



图12 2012—2016年研究生满意度变化情况

12



大学院教育に関する調査 (3)

13

教育学の満足度が最も低く、医学と芸術学への満足度が比較的高い。

表 2 2012－2015 不同学科研究生总体满意度四年比较

学科	2012	2013	2014	2015	2016
哲学	60.1	73.8	80.5 (年度最高)	76.9	71.6
经济学	64.3	60.9 (年度最低)	71.1	73.7	67.1
法学	58.0	71.0	66.5	65.4	69.4
教育学	55.8	68.8	60.6 (年度最低)	58.5 (年度最低)	60.8 (年度最低)
文学	54.0 (年度最低)	72.9	67.1	76.0	73.2
历史学	68.2	68.3	79.1	72.9	75.0
理学	67.7	68.3	66.7	70.1	71.3
工学	65	65.5	63	70.6	70.0
农学	54.4	70.0	68.8	70.2	73.4
医学	78.8 (年度最高)	80.9 (年度最高)	79.8	75.5	70.7
军事学	67.5	73.3	68.3	67	71.1
管理学	55.0	61.3	65.7	67.6	63.3
艺术学	68.7	62.2	71.2	78.8 (年度最高)	75.8 (年度最高)



附



北京理工大学学位与研究生教育研究中心
Research Center for Graduate Education (RCGE), BIT

北京理工大学教育研究院概要

- 高等教育学、大学院教育学、教育技術学、教育政策と法規、教育と発展心理学の5コース
- 教員34人，うち教授5人、副教授12人。



15



大学院教育に関する調査 (4)

図書館に対する満足度が5年間連続最も高い、食堂に対して満足度が5年間連続最も低い

表 3 2012－2016 年管理与服务各项满意度 (%)

管理与服务项目	2012	2013	2014	2015	2016
图书馆	66.7	71.3	71.8	74.2	74.8
“三助”岗位	47.1	56.0	55.3	61.1	61.6
奖学金	48.6	54.3	53.1	60.3	60.4
宿舍	49.3	51.1	50.0	51.0	55.0
食堂	40.7	45.7	44.1	48.8	52.9
学生管理	-	58.5	56.9	61.4	61.5
学术交流	-	55.1	54.6	60.6	60.6
就业指导与服务	-	47.6	49.1	54.2	56.4



14



北京理工大学学位与研究生教育研究中心
Research Center for Graduate Education (RCGE), BIT

THANKS

E-mail: wangzj@moe.edu.cn



日中高等教育研究ワークショップ
大学教育の質的保証と評価

東洋大学における教育質保証の取り組み

2017年1月11日

東洋大学 副学長

神田 雄一

1

東洋大学の教育理念

○東洋大学の教育理念

- 【自分の哲学を持つ】多様な価値観を学習し理解するとともに、自分の哲学(人生観・世界観)を持つ人間を育成する。
- 【本質に迫って深く考える】先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。
- 【主体的に社会の課題に取り組む】社会の課題に自主的・主体的に取り組む、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

○東洋大学の心

- 【他者のために自己を磨く】自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。
- 【活動の中で奮闘する】現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

➡ 東洋大学における「質」のベースは教育理念
考える視点その1「質・質保証とは何か? 学士力・学位」

3

東洋大学の概要

- 創立: 1887 (明治20) 年「私立哲学館」
- 創立者: 井上円了 (哲学者、教育者)
- 建学の精神: 「諸学の基礎は哲学にあり」 「独立自活」 「知徳兼全」
- 組織: 11学部44学科、10研究科32専攻、1法科大学院
- キャンパス: 東京都文京区白山、赤羽台、埼玉県川越市、朝霞市、群馬県板倉町、総合スポーツセンター (板橋区)、大手町サテライトキャンパス



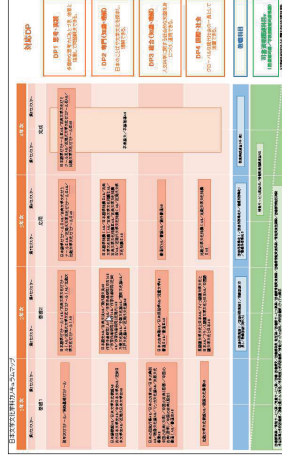
- 学生数: 30,194名 (平成26年5月1日現在)
- 2014年 文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択
- 2017年 創立130周年 5つの新学科設置、東洋大学ビジョン「Beyond 2020」

2

教育の質向上のために

(1) カリキュラム

- ・2016年度から、9学部がカリキュラムを大幅に改革
- ・基礎教育科目の枠組 (東洋大学スタンダード) 「哲学・思想」「国際人の形成」「キャリア・市民形成」「学問の基礎」「総合」の5領域に再配置
- ・三つのポリシー (ディプロマ、カリキュラム、アドミジション) の検証
- ・カリキュラムマップ
→ 授業科目の目標、領域、順序の設定、明確化
- ・科目ナンバリング
→ 国際通用性の向上のため、各科目の分野と難易度を明記



4

(2) シラバスの充実

- ・平成25年度から、各学科の専任教員によるシラバスの点検を開始
当初は「到達目標が明示されていない」「15回分の授業計画が記載されていない」などのほか、「予習・復習は不要」「出席点50点などの不適切な表現のチェック

- ・今後は、カリキュラムマップや科目ナンバリングなどを活用し、「科目間で内容の重複や抜けがないか」「到達目標の難易度は適切か」などの点検を実施

(3) 學習支援

- ・4.キャンパスすべてに学習(学修)支援スペースを設置
補習教育、導入教育、英語教育等の支援

- ・ToyoNet-ACEの拡充、入学前e-learningの実施
授業運営の効率化、予習・復習の支援、

(4)教員の質の向上

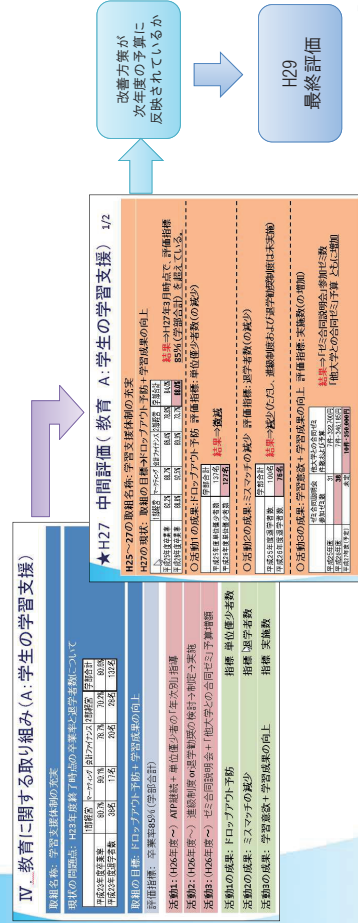
- ・FD(ファカルティ・ディベロップメント)FD推進センター(研修、教育改善、授業評価手法検討、大学院、編集の5部会)各種イベント、教員の研修機会の提供、各学部のFD活動の支援
- ・教員の審査体制の厳正化
採用時には、プレゼンテーション、英語力の審査、理事長面接の実施
各学部の審査基準、審査報告書を統一
- ・教員活動評価
前年度の活動を「教育」「研究」「社会貢献」「学内業務」の4分野で自己点検・評価(H26、H27にトライアル、H28度よりの本格導入)

考える視点その2「学習成果の測定方法

「サポート力、学習内容・方法」

質保証への仕組みづくり

- (1) 学長フォーラムの実施
- ・H25年10月に「平成25年度～28年度までの中期目標・中期計画」を立案し、「教育(学生の学習支援)(卒業・就職)(国際化)」「研究」「社会貢献」に分け、それぞれに到達目標や活動、評価指標を明示するようにした。
 - ・H27年8月には、中間評価の報告を全学で実施し、さらにH27年11月の予算ヒアリングで詳細を確認した。



(2) 自己点検・評価、評価、認証評価

- ・自己点検・評価は、「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする」(学校教育法第108条)と定められており、本学ではH23年度より、自己点検・評価委員会にて全学科・専攻で毎年実施。



- ・H26年度に大学基準協会による第2期目の認証評価を受審し、H27年3月に「適合」判定(長所6点、努力課題4点、改善勧告0点)を受けた。
- ・専門職大学院認証評価(法科大学院)
- ・日本技術者認定機構(JABEE)理工学部

【教育課程表（教育内容）】

学習項目	学習の目的	到達目標	評価方法	評価時期	評価基準
基礎科目	基礎科目の学習目的	基礎科目の学習目的は、基礎科目の学習目的を達成することである。	基礎科目の学習目的は、基礎科目の学習目的を達成することである。	基礎科目の学習目的は、基礎科目の学習目的を達成することである。	基礎科目の学習目的は、基礎科目の学習目的を達成することである。
専門科目	専門科目の学習目的	専門科目の学習目的は、専門科目の学習目的を達成することである。	専門科目の学習目的は、専門科目の学習目的を達成することである。	専門科目の学習目的は、専門科目の学習目的を達成することである。	専門科目の学習目的は、専門科目の学習目的を達成することである。
総合科目	総合科目の学習目的	総合科目の学習目的は、総合科目の学習目的を達成することである。	総合科目の学習目的は、総合科目の学習目的を達成することである。	総合科目の学習目的は、総合科目の学習目的を達成することである。	総合科目の学習目的は、総合科目の学習目的を達成することである。

まとめ

（１）内部質保証システムの確立

- ・大学が、教育理念やそれぞれの特徴、状況、目的などに応じて、常にPDCAサイクルを廻しながら内部質保証システムを実現させる
- ・大学の「教育の質」を社会に保証するためには、成績評価の厳正化、GPAの活用推進
 - 成績評価基準の見直し、ルーブリックの採用、学習指導体制の強化、GPAの卒業要件への設定、ST比の改善
- ・教職協同＋学生の参画

（２）外部質保証システムとの連携

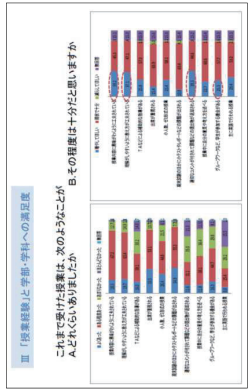
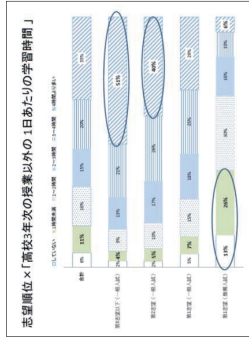
- ・質保証の主体としての大学の役割
- ・公的な外部質保証システムの受審やステークホルダーからの評価
 - さらに社会への情報公開の推進

（３）IR (Institutional Research) 室の設置

- ・H25年9月に設置

- ①教育研究・経営・財務情報など大学の諸活動に関する情報収集・蓄積
- ②特に学生の学習成果など教育機能についての調査分析
- ③大学経営の基礎となる情報の分析

- ・学生アンケート(新入生、在校生、卒業生)の分析を中心に行い、教学マネジメントへフィードバック。



考える視点その3「質保証の方法」大学基準協会、日本学術会議(分野別)、JABEE、国際的標準」

大学教育における質保証

一高等教育研究所の取り組み

上海对外经贸大学
高等教育研究所/企画部

宋 影萍

1

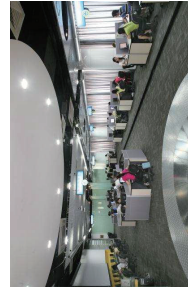
内容

- 1 大学の概要
- 2 質的保証の取り組み
- 3 未来目標

2

大学の概要

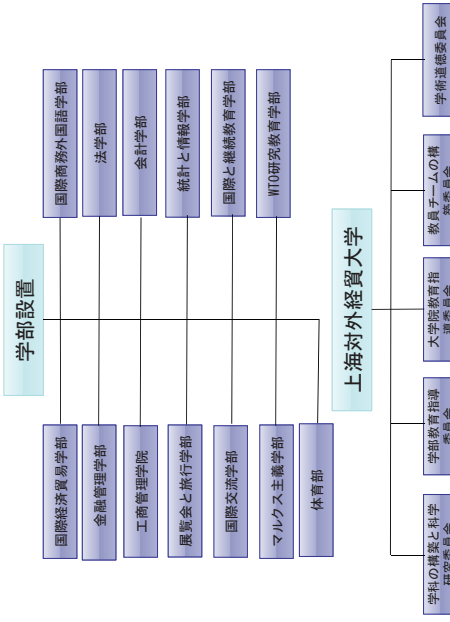
古北キャンパス	51, 333平方メートル
七宝キャンパス	11, 333平方メートル
大学城キャンパス	606, 003平方メートル
附属中学・高校	48, 324平方メートル



教職員1,000余名、大学院生・学部生計10,000余名、留学生2,000余名。

3

大学組織と管理部門



4

分野別・学部別学生の割合

学科門類	経済学	管理学	文学	法学	理学
学部専攻数	6	15	6	2	1
学部生の割合	31.48%	45.24%	14.39%	6.27%	2.62%
修士学科数	7	13	6	8	1
大学院生の割合	30.95%	25.76%	15.42%	27.85%	

——《上海对外经贸大学高等教育基礎統計報告表》（2015/2016学年初め）

5



上海对外经贸大学

全国における位置づけ

学科名称	評価された大学	得点	位次
応用経済学	88	68	共に45位 (8/11)
工商管理	115	67	共に50位 (9/12)
外国言語文学	92	69	共に40位 (6/10)
法学	86	67	共に44位 (7/10)

分類	全国機関数	評価された機関数
985	39	39
211	112	110
博士授与権大学	286	253
修士授与権大学	242	110
科学研究所	243	28

《教育部学位
及び大学院教
育発展センタ
ー》（2012）

6

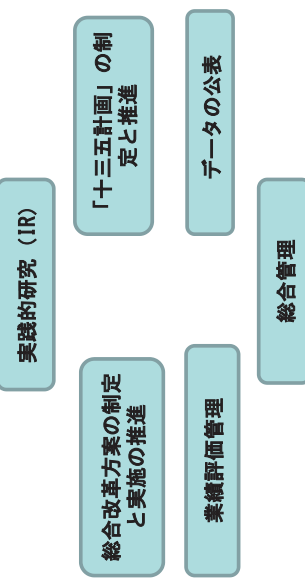
社会的評価

指標類型	ランキング機 関	本校	模範大学
中国受験生に人気のある大学	校友会版	60/2500	12/2500
財經類大学ランキング	校友会版	16/30	5/30
財經類大学學術ランキング	武書連版	248/600	87/600
財經類大学競爭力	邱均平版	24/66	6/66
合格ラインランキング（10年）	華師大版	48/2500	10/2500
全国英語四級ランキング	試験委員会	15/1200	上位20位内に入 らなかった
全国英語六級ランキング		7/1200	3/1200

7

高等教育研究所・企画部の役割

高等教育研究所：2008年10月に設立
企画部：2013年10月設立（教育質的監査と評価センターから改組）



8

高等教育研究

機関研究 (IR)

サービス研究 (SR)

発展研究 (DR)

9



上海对外经贸大学

高等教育研究

- 《对外经贸教育研究》 (毎年度2期)
- 学院発展サービス研究 (ケーススタディ)

SR

- 『上海高等教育機関学科専攻構案自主評価方案研究』 (11年)
- 『上海高等教育機関国際証行動に参画する研究』 (12年)
- 『上海对外经贸大学社会影響力青書』 (2015)
- 『上海高等教育機関が科学イノベーションセンター構案に参画する実証研究』 (16年)
- 『上海高等教育機関が科学イノベーションセンター構案に参画する核心能力研究』 (17年)



高等教育研究

- 『上海对外经贸大学のトップ層の設計』 (13年)
- 『上海对外经贸大学の国際証に参画する可能性報告』 (14年)
- 『上海对外经贸大学の発展環境研究報告』 (15年)
- 『上海对外经贸大学の社会需要及び人材育成質の報告』 (12-16年)

IR

- 『毎週高教要聞』 (総第150期)
- 『高教決策参考』 (総第21期)
- 『国際証証通訊』 (総第4期)
- 『上海对外经贸大学の社会影響力青書』 (2015)
- 『上海对外经贸大学の情况調査報告』 (2009-2012)

備考: IRは受動的に仕渡される型と主動的に展開する型という二種類がある。

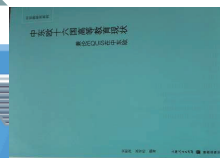
10

高等教育応用研究

教育政策を核心とする公共政策研究

- 公共政策研究センター
- 公共政策集 (1-3集)
- 論文
- 『公共政策』 課程及び研究
- 国际教育 (シンクタンクの視点) : 上海市青年課題
- 中東ヨーロッパにおける国家教育
- 国際証証: 『上海高等教育機関内在的要素の構案における国際的示唆』 (重点課題)
- 業績評価
- 業績評価指標体系
- 『2016年業績評価報告』
- 大学と社会
- 『大学と都市』 選択履修課程の開設

DR



12

高等教育研究

- 教育部總改司，上海市教委總改處
- 『上海市總合改革を深化する方案（2014-2020）』
- 吳昌迪をチームリーダーとする50人の諮問委員会
- 『上海對外經貿大學總合改革を深化する方案（2015-2020）』
- 年度要点及びケーススタディーの編集、報告

總合改革方案の制定と推進を深化する

13

高等教育研究

- 全体計画
- 特定項目計画（学科と科学研究、人材育成、教員構成、教育国際化等9項目）
- 学部計画（8つの実体学部+WT0教育等13項目）
- 『上海對外經貿大學「十三五計画」推進年度報告』（2016年）
- 業績評価及び資源配分

「十三五計画」の制定と推進

14

高等教育研究

- 地方学校との提携：松江附屬学校
- 国際認証：会費、会議及び年度報告
- 資源状況調査
- 模範大学との交流及び提携
- ウェブサイトの構築及びメンテナンス

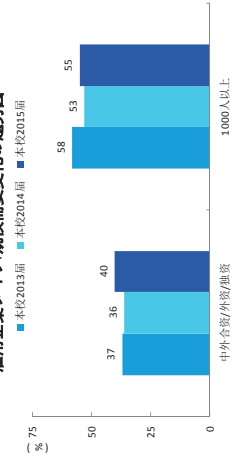
總合管理

15

卒業生調査

就職方向：最近5年の卒業生の中外合弁企業/外資企業/単独投資企業で就職する割合（それぞれの割合：37%、36%、40%）。
雇用企業：卒業生は主に1000人以上の規模の企業に集中している（それぞれの割合：58%、53%、55%）。
對外經貿人材を育成する特色と人材育成の質を表現している。

雇用企業タイプ/規模需要変化の趨勢図



— 『上海對外經貿大學新卒者育成の質に関する評価報告書』（2016）

16

卒業生調査

就職地域：2015年新卒学生の8割以上は上海で就職した（85.1%）、ローカル就職市場は卒業生を吸収する能力が強い。
就職教育：金融業（銀行/保険/証券）、各類専門的設計と諮問サービス業の割合は高い（それぞれの割合：33.6%、21.2%）

主要な業種需求変化趨勢表

業種名称	2013年 (%)	2014年 (%)	2015年 (%)	変化趨勢
金融業(銀行/保険/証券)	36.1	41.4	33.6	—
各類専門的設計と諮問サービス業	16.2	15.9	21.2	↑
メディア、情報及び通信産業	4.6	5.2	9.1	↑
リテール業務	4.3	5.2	6.5	↑
政府及び公共管理	4.3	4.0	3.0	↓

——『上海对外经贸大学新卒者育成の質に関する評価報告書』（2016） 17

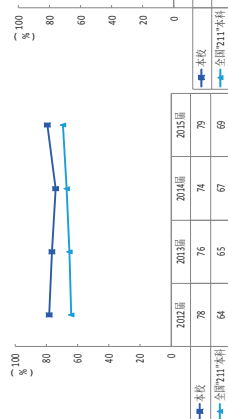


上海对外经贸大学

卒業生調査

卒業生の現状に対する満足度：最近4年の割合-78%、76%、74%、79%
職業期待の合致度：最近4年の割合-49%、56%、52%、54%

現状に対する満足度の変化趨勢図



——『上海对外经贸大学新卒者育成の質に関する評価報告書』（2016） 18

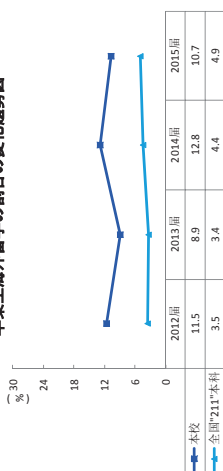


上海对外经贸大学

卒業生調査

最近3年の卒業生の海外留学に行く割合は高い状態が続いている（それぞれの割合-8.9%、12.8%、10.7%）。全国「211」学部卒業生の平均レベル（それぞれの割合-3.4%、4.4%、4.9%）と比較すれば、優位性を持っている。これは本校の高レベル、国際化大学を目指す発展ポジショニングに合っている。

卒業生海外留学の割合の変化趨勢図

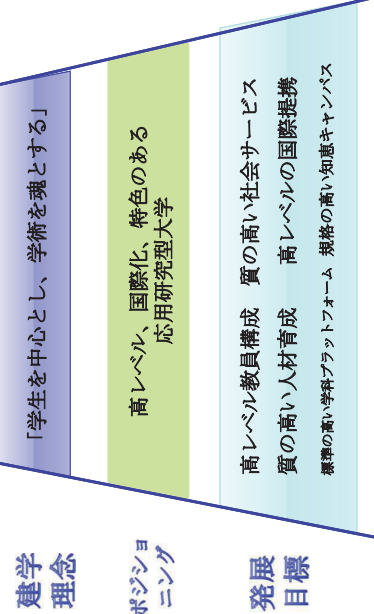


——『上海对外经贸大学新卒者育成の質に関する評価報告書』（2016） 19



上海对外经贸大学

(三) 大学の発展目標



——『上海对外经贸大学「十三五」改革及び発展計画』（2016-2020年）



上海对外经贸大学

日中高等教育研究ワークショップ「大学教育の質的保証と評価」東洋大学2017年1月11日

大学教育の質保証の取り組み —中国海洋大学の事例—

A panoramic view of the city of Istanbul, Turkey, showing the Bosphorus Strait, the Golden Horn, and the city skyline with numerous buildings and the Hagia Sophia.



沿革

- 1924年 私立青岛大学
- 1930年 国立青岛大学
- 1932年 国立山东大学
- 1951年 山东大学(1958年迁往济南)
- 1953年 成立山东海洋学院
- 1960年 被中共中央确定为全国13所重点综合性大学之一
- 1985年 更名为青岛海洋大学
(邓小平题写校名)
- 2002年 更名为中国海洋大学

1902年 山东大学

1907年 山东大学堂

1985年 省立山东大学

1982年 私立青岛大学

1960年 国立青岛大学

1952年 国立山东大学

1951年 山东大学

1932年 国立山东大学

1930年 国立青岛大学

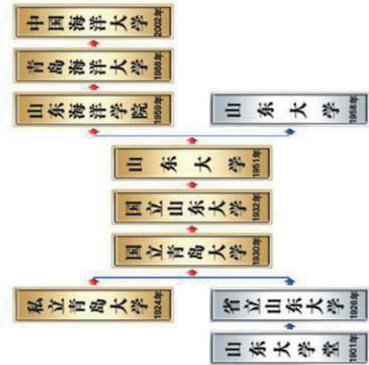
1924年 私立青岛大学

2002年 中国海洋大学

1985年 山东海洋学院

1902年 中国海洋大学

- 1924年 私立青岛大学
- 1930年 国立青岛大学
- 1932年 国立山东大学
- 1951年 山东大学(1958年迁往济南)
- 1959年 成立山东海洋学院
- 1960年 被中共中央确定为全国13所重点综合性大学之一
- 1988年 更名为青岛海洋大学
(邓小平题写校名)
- 2002年 更名为中国海洋大学



4

格内

1.中国海洋大学の概要

2. 質保証の取り組み

3. 将来構想



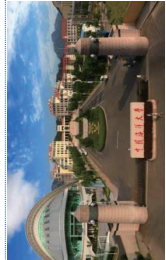
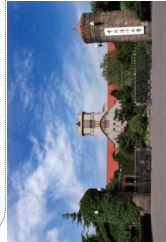
規模

職員：3,000余人（専任教育と研究者1,600余人）

全日制在校學生數：24,000余人（學部生：15,000余人、修士

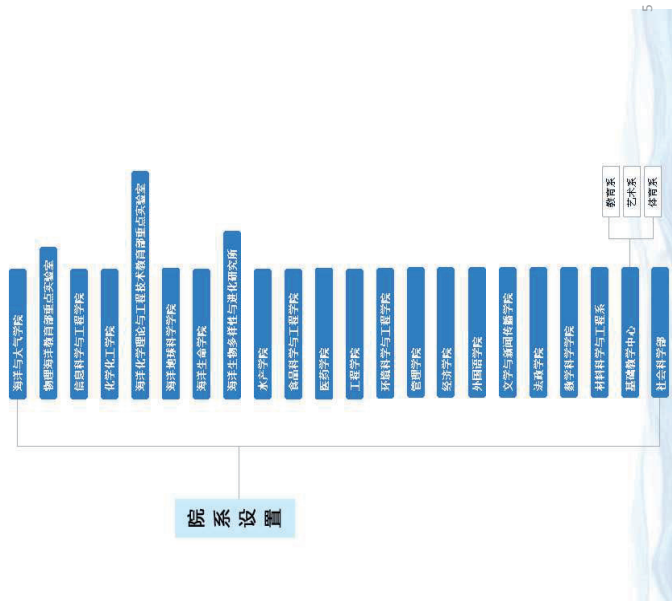
萌山キャンパス・魚山キャンパス・浮山キャンパス：面積
 校舎面積77.9万㎡

島嶼キャンパス：面積200ヘクタール、地方政府から第1期建設資金を投入、建設中



特色のある総合大学

院系設置



5

International Collaborations in Marine education

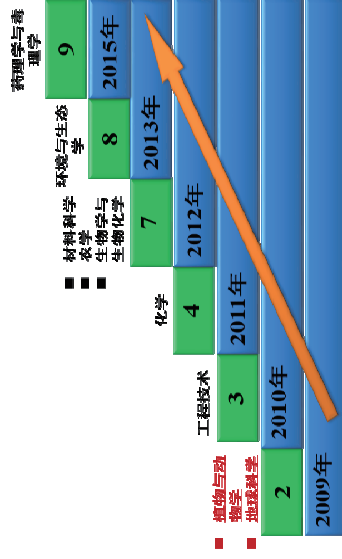
教育・研究の国際的協力

- Center for Sino-German Cooperation in Marine Sciences
- Sino-Australian Joint Research Center for Coastal Management
- Sino-Korean Research Center for Marine Development
- Joint PhD program in oceanography with Texas A&M University
- Joint PhD program in agriculture with Auburn University
- Strategic Alliance in Integrative Ocean Science and joint teaching program in environmental science with University of East Anglia
- Joint teaching program for undergraduate students in marine science with University of Tasmania & Dual Degree Program in Law with University of Arizona
- Sino-Australian Joint Research Centre for Ocean Engineering with Curtin university

7

九の専門分野はESIのランキングのトップ1%ランクイン

そのうち地球科学、植物・動物学はESIのランキングにそれぞれトップ0.42%、0.27%に



6



中国海洋大学
Ocean University of China

発展の目標：世界一流大学

大学設立100年である2024年の際に、大学を国際的知名度が高く、特色が顕著な高いレベルの研究型大学に
21世紀半ばに、特色が顕著な世界一流大学に

「一流大学と二流大学の間の最も大きな差異は、教職員の採用に対する関心度への差である」

—Keller George, *Academic Strategy: The management revolution in American Higher Education.*

8

内容

1.中国海洋大学の概要

2.質保証の取り組み

3.将来構想

9

F D 専門組織の構築（2）

中国海洋大学教学支援センターの組織構造

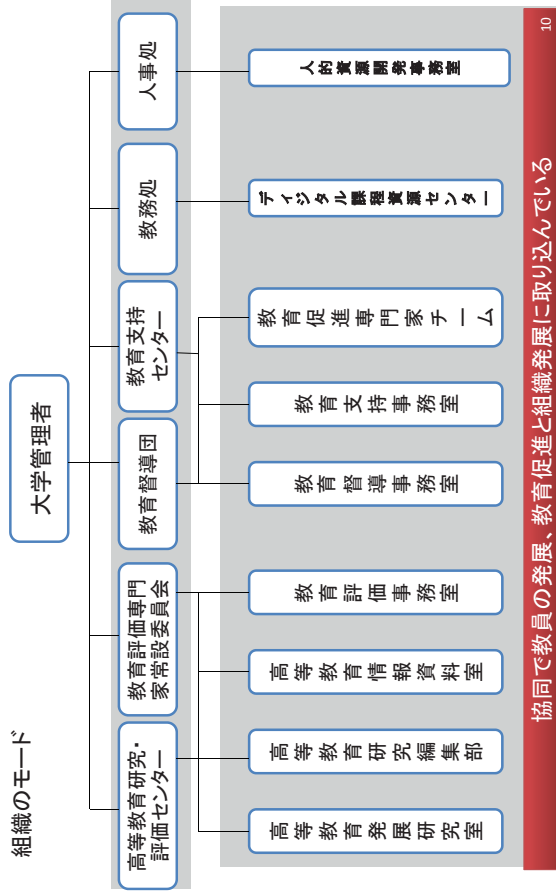


- ・ 高等教育研究・評価センター: 研究基盤
- ・ 人事部門/人的資源管理室: 政策保証
- ・ 教務部/デジタルカリキュラム資源センター: ハード面の整備

11

F D の専門組織の構築（1）

組織のモード



10

中国海洋大学教学支援センターのミッション

教員と大学と共に成長・発展する雰囲気を形成し、大学の教学と学術水準を向上する文化の形成を促進

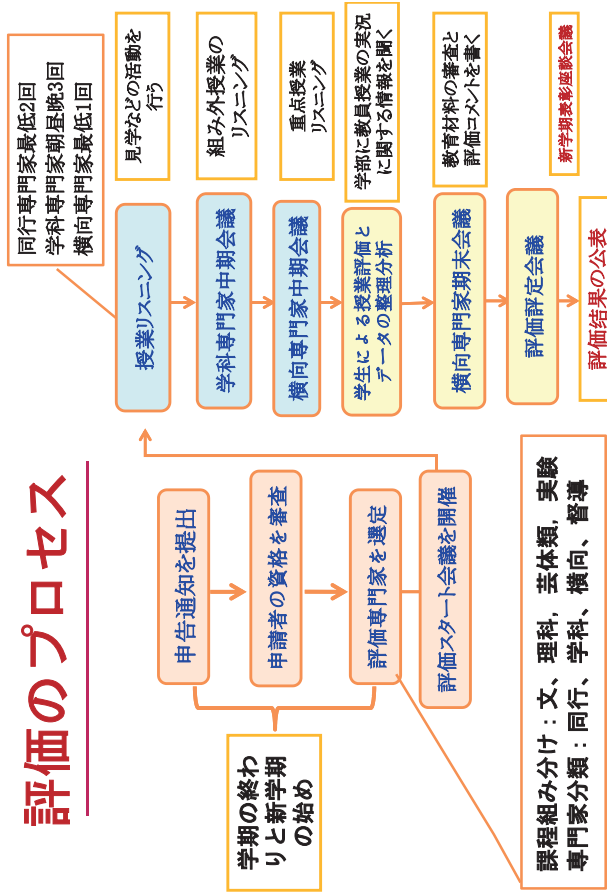
目標

機能

- ・ 教学評価・諮問、F D などについての調査・研究
- ・ 教育・教学の改革を促進し、新しい教育方法と技術の応用を探索する
- ・ F D の関する報告書の作成、ワークショップの開催、訓練の実施
- ・ 教員の発展に資源・基金などを提供
- ・ 教育・研究の質を促進する文化・意識の強化

12

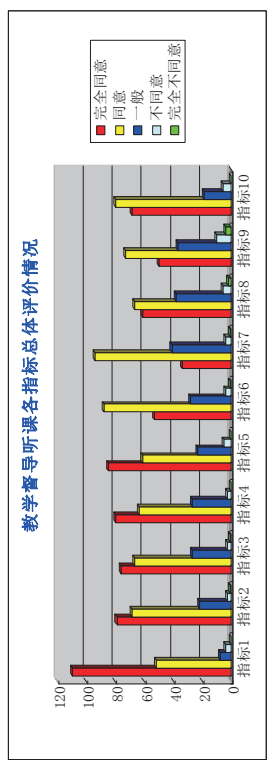
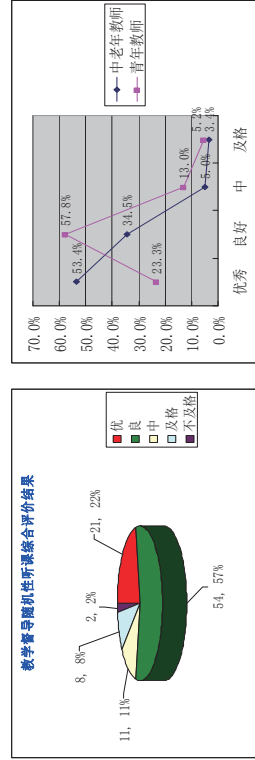
評価のプロセス



13

研究データを利用し、教育を改善する

ベンチマーキング



15

評価の三段階

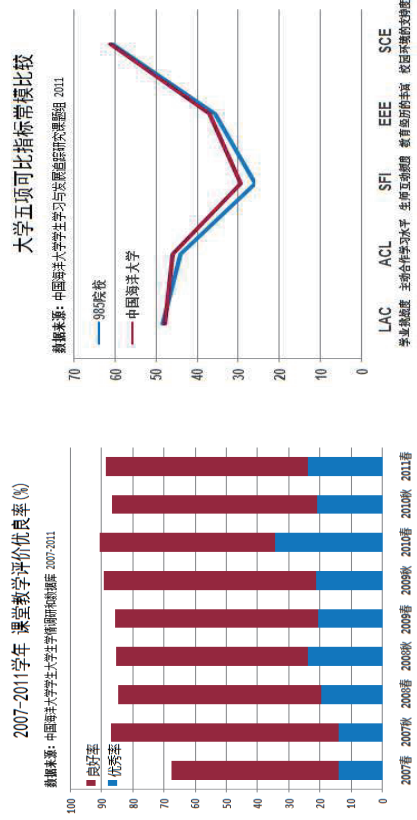
- 1986-1990年：優秀を評価し、目標を立てる。「終結式評価」特徴顕著
学内教育成果を元に、授業評価を開始する。各学部自己評価後、推薦し、「優秀」を評価し、目標を立てる。評価の「結果」に重視
- 1991-2003年：制度を制定し、質を保証する。「過程性評価」へ移行
評価の目的：評価によって整備・発展を促し、評価によって改革を促し、評価によって管理を促す。評価と整備を結合させ、重点は整備におく
システムは四つの面で制度を制定：指標、チーム、考察ディメンション、プロセス
- 2004年-現在：教育を重視し、質を促進する。「発展性評価」モードを形成させる。
2004年、学校に発表された政策により、教員の職階が上昇する場合、必ず学校による教育評価に参加しなければならない。且つ、「優秀」或は「良好」を取得しなければならないことになった。
2010年、職階の審査においては、学校は教育型教授、副教授という職を設置する。これは評価の権威性と政策導入力を再度強化させた。

形成された特徴：将来可能性、発展性、独立性、学術性

14

行動策略一：本校の研究データにより、教育を改善

「教情」、「学情」に関するデータを分析し、教育を改善



16

授業形態と学習環境の改善

「学生を中心に」の教育理念を構築

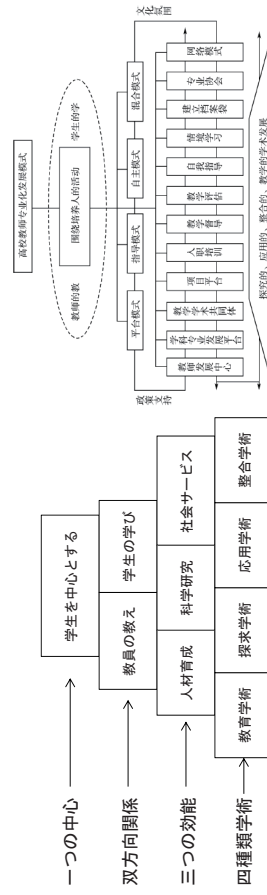
learning space design student-centered learning

- ・ 2003年から教学に関する新体制を実施、小人数教育、教員と学生との双方向的な教育を推進、学生の個性の重視を強化
- ・ 2006年から崂山キャンパスの教室ではデスクと椅子を全部移動が可能に



17

FDに関するシステムの構築



多元的学術観: Scholarship of teaching and learning, Scholarship of discovery, Scholarship of application, Scholarship of integration

19

内容

1. 中国海洋大学の概要
2. 質保証の取り組み
3. 将来構想

18

ご清聴ありがとうございました。

Email: cbsswh@ouc.edu.cn

20

アジア大学におけるIRと教育の質的保証— —日本、中国大陸・台湾を中心に



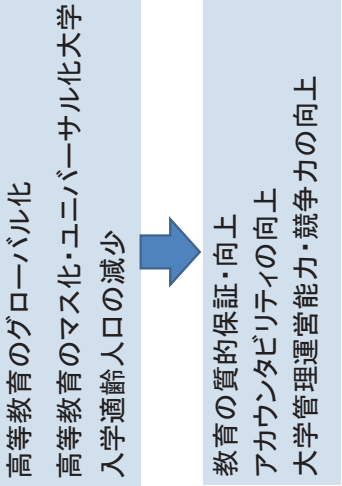
東洋大学IR室 劉文君
2017年1月11日

2

内容

- ▶はじめに
 - IRと高等教育の質的保証
 - プロセス評価としての学生調査
 - アジアにおけるIR活動の連携の意義

高等教育における共通の課題



3

アジア高等教育質的保証システム構築

- 組織・制度レベルでの評価システム
(政府、中間組織、大学)
- 大学教育と学習に対するモニタリング、フィードバック

アジアと関連する国際制、地域的高等教育質保証ネットワーク
—INQAAHE (International Network for Quality Assurance
Agencies in Higher Education、APQN (Asia-Pacific Quality
Network) : 学生の単位交換、単位交換、学位認証などの標準
の制定を通じて、高等教育の質的保証を行う。

日・中・韓高等教育の質的保証ネットワークCAMPUS Asiaの構築

中国	中国教育部高等教育評価センター (HEEC 2004年)
日本	●大学評価・学位授与機構 (2006年) ●日本高等教育評価機構 (2005年) ●大学基準協会 (1947年、2004年)
韓国	韓国大学教育協議会 (KCUE 1982年)

4

内容

はじめに
IRと大学教育の質的保証
プロセス評価としての学生調査
アジアにおけるIR活動の連携の意義

IRと大学教育の質的保証(1.日本)

調査説明

平成24-25 年度文部科学省先導的 大学改革推進委託事業「大学における IR(インスティテューションショナル・リサーチ)の現状と在り方に関する調査研究」の一環として、「大学のインスティテューションナル・リサーチ (IR)」に関する調査研究」(2013年12月質問紙調査)を実施。

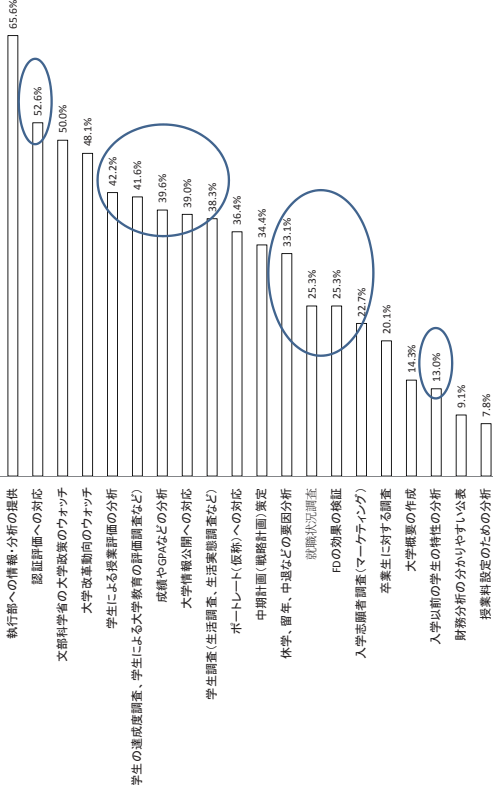
	国立	公立	私立	計
調査対象校	86	83	614	783
有効サンプル	66	61	425	552
(%)	12%	11%	77%	100%

I IRと学生調査 ③IRの変遷

	1960年代	70年代	80年代	90年代	2000年代
米	第1期 AIR1965年設立 1924年ミネソタ大学「調査研究部門」設置	第2期 IR部門多くの大学に常設	第3期 IRの活動拡大、部門担当者専門職化		
日		第1期 1970年広島大学「大学問題調査室」設置 1972年 研究センター 設置	第2期 1992「東京大学調査室」設置 1996年「大学総合教育研究センター」設置	第3期 IRへの関心が向上	
中		第1期 高等教育研究所設置	第2期 IR研究	第3期 2007年に中国高等教育学会IR研究分会を設立 一部教育研究所→教育学院	

- IR、学生調査の担当者
 - 米:IR組織、専門職があり
 - 日:高等教育研究センター、企画部門
 - 中:高等教育研究院(所)、企画部門
- 社会要求に対応して発展
 - 伝統的なIRの機能、新しい機能の変遷

1.2 IR組織の担当業務



1.3 IR組織の業務に関する因子分析
(プロマックス回転)

	因子				
	I	II	III	IV	V
b.就職状況調査	.812	-.071	-.159	-.004	.176
a. (マーズクティンク)	.623	-.140	-.065	.071	.265
d.休学・留年、中退などの要因分析	.661	.148	.115	.029	-.119
c.成績分やGPAなどの分析	.641	.050	.181	.085	-.202
j.学生調査(生活調査、生活実態調査など)	.362	.068	.084	-.190	.082
q.認証評価への対応	.166	.866	-.046	-.126	-.128
s.大学情報公開への対応	-.095	.529	.097	.057	.310
t.大学ポータルサイトへの対応	-.104	.496	.055	.152	.027
e.中期計画(戦略計画)策定	-.036	.403	-.078	.151	.218
n.学生による授業評価の分析	-.014	-.024	.522	.007	.040
o.FDの効果検証	.202	.016	.443	-.025	-.021
k.学生の満足度調査	.019	-.029	.019	.957	-.086
i.大学改革動向のウォッチ	.013	.078	-.020	.762	.029
h.文部科学省の大学政策のウォッチ	.040	-.108	.157	-.041	.677
g.財務分析のわかりやすい公表	.007	.203	.049	-.014	.468
f.大学概要の作成	.033	.096	.000	-.033	.491
f.授業料設定のための分析	19.9%	14.3%	7.0%	4.3%	3.9%
寄与率	1.000	-.012	.288	.025	.309
I	-.012	1.000	.139	.500	.352
II	.288	.139	1.000	-.044	.093
III	.025	.500	-.044	1.000	.410
IV	.309	.352	.093	.410	1.000
V					

9

2.6 IR組織の影響力の規定要因
(ロジスティック回帰分析)

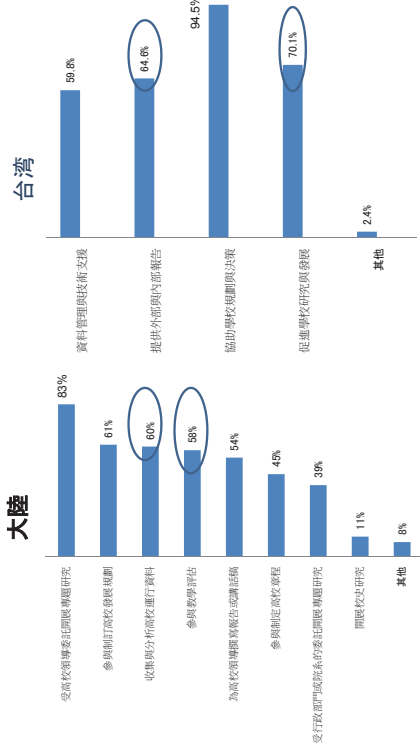
モデル1	従属変数		IR活動内容は学内に知られ		意思決定に關与		意思決定に賛成	
	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)
学生状況把握・分析	.610 **	1.851	.381	1.468	.610 **	1.840		
外部評価への対応	.183	1.200	.250	.359	.219	1.245		
教育成果分析	.275	1.316	.024	.908	-.204	.815		
政策・改革動向分析	.178	1.195	.596 **	.024	.596 **	1.815		
財務・経営分析	-.409	.664	-.240	.433	-.184	.832		
定数	.512 ***	1.720	.697 ***	.000	.508 ***	1.661		
Good-Snell R 乗	.079		.090		.115			
Nagelkerke R 乗	.107		.124		.156			
モデル適合度	P<.05		P<.05		P<.01			
N	137		136		132			

モデル2	従属変数		IR活動内容は学内に知られ		意思決定に關与		意思決定に賛成	
	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)	B	Exp(B)
学生状況把握・分析	.640 **	1.897	.398	1.488	.593 **	1.809		
外部評価への対応	.180	1.480	.281	1.324	.271	1.311		
教育成果分析	.245	1.278	.095	1.117	.675 **	1.963		
政策・改革動向分析	-.467	.627	-.379	.684	-.274	.760		
財務・経営分析	-.280	.756	-.1379	.252	-.1697	.852		
設立タミ	-.175	.839	-.465	.615	-.149	.862		
大規模改革タミ	-.418	.669	-.595	.551	-.447	.639		
中の上級タミ	-.835	.444	-.461	.637	-.066	1.101		
の規模	.138 *	1.148	.060	.571	-.143	.862		
定数	1.135 *	2.859	1.419 **	4.133	1.140	2.205		
Good-Snell R 乗	.05		.182		.140			
Nagelkerke R 乗	.145		.182		.189			
モデル適合度	P<.1		P<.1		P<.05			
N	130		130		125			

注.***は1%水準,**は5%水準,*は10%水準で有意である。

10

IRと大学教育の質的保証(2.中国大陸・台湾)



N = 320, 华中科技大学研究生院发展研究中心,《全国本科高校的高教
研究机构调查》2015

N=127 台湾评价协会, 2016年调查

11

内容

はじめに
IRと大学教育の質的保証
プロセス評価としての学生調査
アジアにおけるIR活動の連携の意義

12

プロセス評価としての学生調査

IR・ベンチマークのツールとしての学生調査

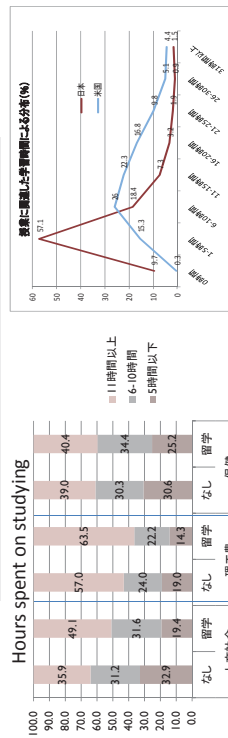
- IRの道具箱のうち最も重要な道具の一つが調査である。…調査研究はIRにとって最も一般的活動のうちのひとつだ (Jillian Kinzie)
- フィードバックの経路のアウトカム志向、学習過程・行動をニタリングへのシフト(金子)
- 多くの学生調査は過程と結果の両方を測定、学生の学習のアセスメントとして有効、信頼度高い。効率性:コンピュータとウェブのテクノロジーによる調査データ収集、分析、ベンチマーキングが可能

13

プロセス評価としての学生調査 (日本)

東京大学学術政策研究センター(CRUMP)の調査

ベンチマーク、国際比較、政策提言



Effects of studying abroad

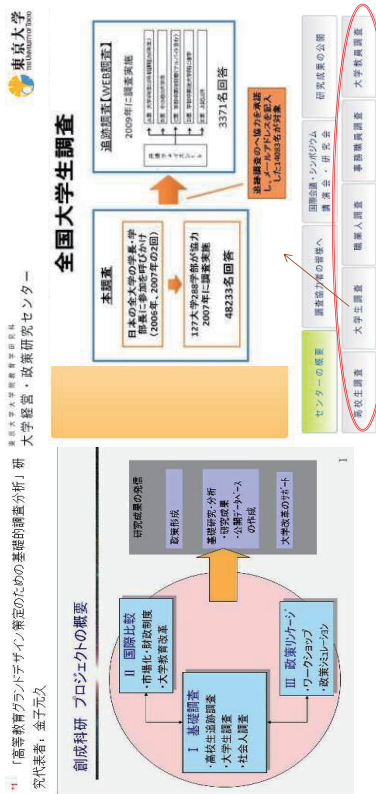
Hours spent for studying	Humanities	Engineering	Health-related
Participation group work/	.119	.048	.038
Participation group work/	.107	.077	.05
Knowledge in	.078	.043	.037
Specialty	.071	.059	.037
Problems solving	.071	.059	.037
Unclear about future career	-.025		
Satisfied with university life	-.028		-.034

All values significant at 99 percent level CRUMP Survey (Sample 38, 336)

15

プロセス評価としての学生調査 (日本)

東京大学学術政策研究センター(CRUMP)の調査



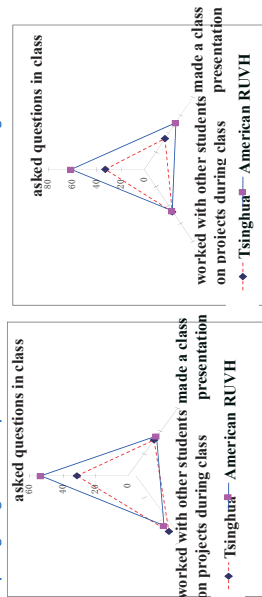
14

プロセス評価としての学生調査 (中国)

北京交通大学教育研究院

- CCSS調査「中国大學生学習調査」(NSSE-China) 2007年開始 (中国大學生学習と発展調査)
- 2009年～2012年、全国100強校の大学、10万人強の学生参加
- 2010年調査、回答者60,684 (回答率81.9%)
- 2010年「中国大學生就職追跡調査」開始、6000強の卒業生参加
- 2011年「中国高等教育機関教員状況調査」実施、44大学参加、3801の回答者 (回答率77.6%)
- 地域別(東・中・西部別、省別)、大学類型別(1985J、211プロジェクト大学と一般大学)分析
- アメリカトップ大学とのベンチマーキング

Comparing Tsinghua with Top American Research Universities: Learning behaviors in classroom



16

プロセス評価としての学生調査（中国）



- ・「首都高等教育の質と学生生活に関する学生調査」：2006年開始（北京市教育委員会と連携）、調査対象校6大学から現在80余り大学
- ・「全国高等教育機関卒業生就業状況調査」：2003年から2年1回（2003年、2005年、2007年、2009年、2011年）調査実施、サンプル数16,723、21,220、16,388、21,753、19,768
- ・地域別（東・中・西部別、省別）、大学類型別（「1985」、「211」プロジェクト大学と一般大学）分析
- ・高等教育の急速な拡大による影響



- ・「中国大学生専攻選定に関する調査」（2007年実施）31省（直轄市、自治区）の175大学47,000余りの新入生を対象に調査（「家庭背景、エスニックと我が国少数民族の高等教育のアセスメント」）
- ・「我国女性高等教育入学社会的城郷差異研究—基于不同類型高校的实证分析」（2008年実施）10省（直轄市、自治区）50大学の在学生を対象
- ・中国高等教育データベースの構築（新入生調査、在学生調査、卒用生調査）

・ 高等教育の機会均等

17

内容

はじめに

IRと大学教育の質的保証

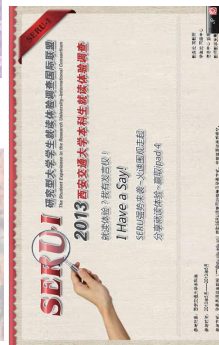
プロセス評価としての学生調査

▲ アジアにおけるIR活動の連携の意義

プロセス評価としての学生調査（中国）

Berkeley's SERU(Student Engagement of Research University)
研究型大学学生調査 2011年から実施、南京大學、中国西安交通大学、湖南大學参加

南京大學
2011年調査2、3、4年生計9665人、回答者数4722人回答率42.7%、南京大學とバークレー大学とのベンチマーキング、大學施策に提言



18

アジアにおけるIR活動の連携の意義

アジアにおける大学質的保証

学生交流・留学の促進

高等教育研究者のネットワークの形成

19

20



総括 ―大学教育の質的保証と評価

金子元久

日中高等教育研究ワークショップ
大学教育の質的保証と評価
東洋大学 2017年1月11日

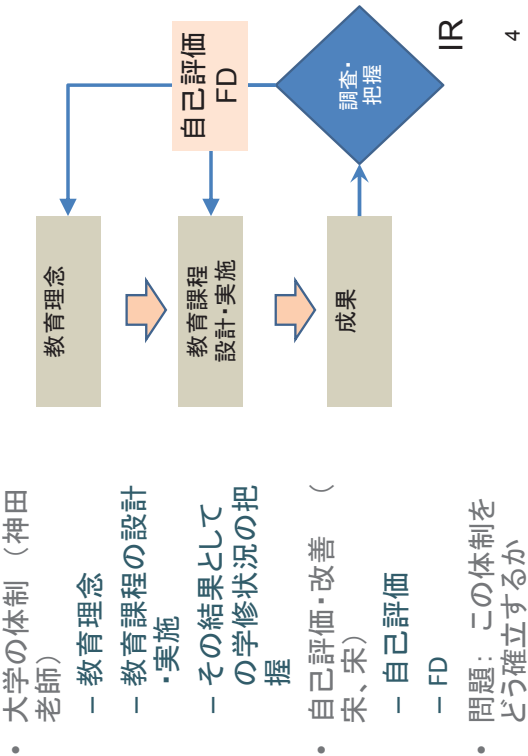
IRへの関心 ― 日中両国で共通

- 背景
 - 知識社会における、大卒者の役割
 - 教育の視点から、学生の学修への視野の拡大
 - 社会からの、大学に対する期待と、厳しい視線
- 目的
 - 教育の高度化と、効率化
 - そのための大学全体としての改革
 - その槓桿としてのIR
- 様々な発展

1. 政府・全国レベル

- 中国（王老師）
 - 監査評価、合格評価
 - データベース
 - 基本数量指標、満足度調査
- 日本
 - 大学設置審査、認証評価
 - 大学数量データベース「大学ポートレート」
 - 学修状況調査 自主的大学コンソーシアム、全国調査試行
- 問題
 - 外部評価を、内部改善にどう役立てるか
 - データベースをどう役立てるか
 - 高校生の大学選択、大学の自己改善

2. 大学での体制



3. IRの課題 • 全国レベルとの対応 – 評価を、どのように内的な改善に結びつけるか – Rankingに社会的な関心が集まる – 自分の個性を伸ばすための Bench-marking が重要 • 研究と、実践的改革との架橋 – 高等教育の学術的な研究と、改善の実践に役立つ研究とは、必ずしも一致しない – どのような情報が、どのように役立てられるか、が必ずしも明確ではない • 大学内での位置づけ – 大学管理部門に位置づけられる – 学部、学院などとの関係が微妙 5	結論 IRと国際的な協力 • 大学の国際化の目的は、教員・学生が外国と交流することを通じて研究・学習を高度化すること。それは大学全体についてもあてはまる。大学が外国の大学の自己評価と改善の取り組みを学修して、それを大学の組織自体に活用する 6
結論 IRと国際的な協力 • IRの取り組みを、日中間で、相互紹介、比較することはきわめて重要 • 教育と学修の構造をみると、日中の違い、それぞれの問題と強みが見えてくる • それはそれぞれの教育改善に大きな意味をもつ 7	主催者の東洋大学、発表者に感謝します

講演者紹介（講演順）

王戦軍

管理学博士。北京理工大学教授・学位と大学院教育研究センター長。清華大学兼任教授。

中国高等教育質的モニタリング研究会会長、中国学位と大学院教育学会学術委員会副委員長、中国高等教育質保証と評価機構協会副理事長・事務局長、中国高等教育評価研究会副理事長、中国教育発展戦略学会理事、中国科学と科学技術政策研究会常務理事。元中国高等教育教学評価センター副センター長。

主な研究分野：高等教育管理と評価、教育発展戦略、大学院教育

神田雄一

工学博士。東洋大学 副学長（教育担当）・グローバル・キャリア教育センター長・工学部教授

（財）機械振興協会 技術研究所所員、東洋大学工学部助教授・FD推進センター長などを歴任。日本電機工業会、ネットワーク推進特別委員会委員長、プロジェクトマネジメント学会会長など歴任。

専門分野：機械加工学、生産システム工学、環境対応型生産システムの研究

宋彩萍

教育学博士。上海對外貿易大学教授、高等教育研究所所長、企画部部長。

中国高等教育学会 I R 研究分会常務理事、中国教育発展戦略学会改革と発展企画専門委員会常務理事。

主な研究分野：高等教育経済と管理、教学研究。

宋文紅

高等教育学博士。中国海洋大学教授、高等教育研究・評価センター長、国際交流部長。

中国高等教育学会 I R 研究分会常務理事、中国教育発展戦略学会改革と発展企画専門委員会常務理事。

主な研究分野：FD研究、高等教育管理・評価。

劉文君

Ph. D.（教育学）。東洋大学 I R 室准教授、東京大学政策ビジョン研究センターシニア研究員。

日本学術振興会特別研究員、東京大学大学総合教育研究センター特任研究員、同大学大学政策ビジョン研究センター シニア・リサーチャーなど歴任。

研究な専門分野：高等教育論、教育経済学

金子元久

Ph. D. 筑波大学・大学研究センター 教授、東京大学名誉教授。

日本学術会議会員、中央教育審議会専門委員。東京大学大学院教育学研究科教授、同研究科長・教育学部長、大学総合教育研究センター長、国立大学財務・経営センター研究部長などを経て、現在筑波大学大学研究センター教授。元日本高等教育学会会長。

主な専門分野：高等教育論、教育経済学。

IR室・国際部共催

日中高等教育研究ワークショップ

大学教育の質的保証と評価



日時： 2017年1月11日（水） 13:30 ～ 17:20

場所： 8301 教室（白山キャンパス 8 号館 3 階）

対象： 本学教職員

プログラム

司会：劉文君（東洋大学 IR 室）

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～14:10 中国における大学教育評価の展開 王 戦軍（北京理工大学 教授）

14:10～14:40 東洋大学における教育質保証の取り組み 神田 雄一（東洋大学 副学長）

14:40～15:10 大学教育の質保証における高等教育研究所の役割 宋 彩萍（上海對外貿易大学 教授）

15:10～15:20 休憩

15:20～15:50 大学教育の質保証の取り組み—中国海洋大学の事例 宋 文紅（中国海洋大学 教授）

15:50～16:20 アジア大学における IR と教育の質的保証 劉 文君（東洋大学 准教授）

16:20～16:50 質疑・ディスカッション

16:50～17:20 総括—大学教育の質的保証と評価 金子 元久（筑波大学 教授）

使用言語：日本語及び中国語（※中国語については、通訳あり）

